

国語表現 I

(017教出・国I 009・国語表現 I 改訂版)

担当: 田中 温子

レポート提出回数

6

単位数

2

必要面接時数

2

1. 学習の到達目標と取り組み

| | |
|-----------------|--|
| 目標 | 国語で適切に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし言語感覚を磨き、進んで表現することによって社会生活を充実させる態度を育てる。 |
| 目標に向けての具体的な取り組み | <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを論理的に述べたり、相手の考えを尊重する。 情報を収集、整理し、正確かつ簡潔に伝える文章にまとめる。 目的や場に応じて、表現を工夫する。 様々な表現についてその効果を吟味し、自分の表現に役立てる。 語句や語彙の成り立ち及び言語の役割について理解を深める。 |

2. 年間学習計画と評価方法

| 月 | 内容のまとめ | 主な学習目標と学習活動 | 単元・題材 | レポート | | スクーリング | Aテスト日と範囲 | 評価方法 |
|------------|-----------------|---|----------------------------|------|-------|--------|----------------|----------|
| | | | | 回数 | 期限 | | | |
| 4月 5月 | 表現における基本的な技術を学ぶ | <ul style="list-style-type: none"> 「読む・書く・聞く・話す」ための最も基本的な技術を練習する。 声を出すための基本から始めて、わかりやすい話し方の基本を学ぶ。 | 1. ことばに変える 2. 声の表現 | No.1 | 5/6 | 4/25 | 第1回 7/4 | レポート・テスト |
| 6月 7月 | 短い文章をつくる | <ul style="list-style-type: none"> 原稿用紙を使わずに、短い文章を作る。人が読みたくなるような、内容や表現に工夫を加える。 | 3. コラムを書く、本を作る | No.2 | 6/14 | 6/6 | レポート No.1・2 | |
| 8月 9月 | ことばに工夫を加える | <ul style="list-style-type: none"> ことば遊びと創作のテクニックを、川柳や広告コピーから学ぶ。 ことばの性質やことばと人間とのかかわりについて学ぶ。 | 4. 言葉遊びと創作 5. ことばと人間 | No.3 | 8/30 | 8/22 | 第2回 11/7 | レポート・テスト |
| 10月 | 筋道を立て、客観的に述べる | <ul style="list-style-type: none"> 考え方の違う相手を説得するような、言いたいことを筋道立てて述べる文章作りの技術を学ぶ。 レポートと小論文の違いを知り、執筆作成までの手順を学ぶ。 | 6. 小論文・レポートを書く | No.4 | 9/27 | 9/19 | レポート No.3・4 | |
| 11月 12月 | 他者あるいは自己との対話をする | <ul style="list-style-type: none"> 会話、会議、発表の実際について学ぶ。 「自分」を主題にした文章を作ることを通して自分自身を見つめる。 | 7. 会話・会議・発表 8. 自己との対話 | No.5 | 12/13 | 12/5 | 第3回 2/13 | レポート・テスト |
| 1月 2月 | その場に応じた言葉を選ぶ。 | <ul style="list-style-type: none"> 手紙の形式や面接の技法を知り、自分のことを他者に適切に伝える技術を学ぶ。 パーソナル・コンピュータによる情報収集および読み書きの道具としての機能を知る。 | 9. 世界との対話 10. 情報の海を航海する | No.6 | 1/24 | 1/16 | レポート No.5・6 | |

3. 評価の観点

| 評価の観点 | 観点の内容 |
|----------|---|
| 関心・意欲・態度 | 国語や言語文化に対する関心を深め、進んで表現したり、伝え合おうとする。 |
| 話す・聞く能力 | 自分の考えをまとめた目的や場面に応じて話したり、的確に聞き取ったりする。 |
| 書く能力 | 自分の考えをまとめた目的や場面に応じて、目的に応じ筋道立てて適切に文章を書く。 |
| 読む能力 | 目的に応じてさまざまな文章を的確に読み取り、自分の考え方や感じ方を深める。 |
| 知識・理解 | 表現と理解に役立てるためのさまざまな知識を身につける。 |